

人口減少に歯止めを



質問者
飯田 一 議員

町人口の減少に歯止めがかからず、非常に危惧しております。

人口政策について、お伺いします。

① 今までの取組みと成果。人口の減少に対し、町としても具体的に対策はいろいろ取られていると思いますが、その成果は。

② 人口減少による教育問題。いま寄幼稚園の園児が減少し、小学校入学を控える保護者においては、教育については非常に不安が募っていますが、町のお考えは。

③ 人口増加対策について

定住化対策、雇用の創出、婚活の支援が人口増加につながる対策

として必要と考えます。以上、町としてのお考えをお聞かせ下さい。

A 定住化対策として
施策の充実を進める
回答 (町長・教育長)

① 子育て支援センターの充実、幼稚園児のバス送迎、通学定期の補助、太陽光発電に対する補助、勤労者住宅資金利子補助等の施策を進めてきた。

人口減少の抑止力として粘り強く努力を重ねたい。



大根の種まき (寄幼稚園児)

② 現在は10人であり、今後も10〜20人程度の園児で推移していくものと思われる。第5次総合計画では少子化の動向を踏まえ幼稚園、寄地区の小・中学校のあり方を中長期的な立場で、地域が主体となった検討を進める。

③ 「住みよい、住んで良かった松田町」にすべく積極的にソフト面、ハード面での事業を展開する。

雇用については、相変わらず厳しい状況が続き、また、町には大きな区画がないため、企業誘致しづらい面がある。

行政課題について



質問者
菅谷 一夫 議員

「地域のことは、地域で定める」の地域主権施策が推進されておりますが、地方財政は乏しい経済ト、益々財源確保と財政運営は厳しさを増しておりますので、次の点をお伺い致します。

① 平成18年度より5年の予定目途として、国庫補助事業の新松田駅南口駅前広場整備に着手されておりますが、事業完了が厳しく思われますので、竣工までの事業工程と予算額は。

② 次世代育成の観点から、幼保教育や小学校・中学校教育のより一層の教育的充実効果を求めるため、適正規模校との統合再編計画等を策定なさる考えは。

① 22年度は計画地内の水路改修工事を執行中、24年度は車歩道及び南口改札のエレベーター設置工事など駅広場機能整備等の工事で、その後に道路等の安全施設付帯工事を予定。ま

A 住みよい「まちづくり」
をすすめます
回答 (町長・教育長)

③ 広域事業の泉西地域消防統合体制の計画策定事業の進捗は。また、広域斎場整備事業の進捗状況は。

② 4月現在の幼稚園児は本町131名、寄12名で今後も横ばい傾向。寄地区の小中学校の新入生は10名前後と推測され、保護者は不安を感じられています。若い人の居住意識を失わせる事のないよう、慎重に検討したい。

③ 21年度に消防の将来像の「グランドデザイン」を作成し、小田原市に事務委託を前提として検討中です。広域斎場は、供用開始時期も含め再検討をする。



足柄消防組合消防本部